【寿都地域】

地域マリンビジョン目標の達成に向けた取り組み

●朱太川流域環境共生圏の形成

(1) 水産業を核とした地域活性化の取り組み（地域の目指すべき姿）（Plan）		
地域MVにおける取組の位置付け	【地域の目指す姿】 ① 水産業振興 【主な取り組み】 〇地元小中学校の水産教育【継続事業】 〇東海大学との連携による水産振興【継続事業】	取組場所
現状における取組実施の背景	・基幹産業である漁業の担い手不足が一つの課題となっている ・地元の水産業の魅力を体験等を通じて五感で学ぶことにより子供のうちから漁業に興味を持たせ、ひいては将来の担い手育成へとつなげる ・地域水産振興のため協定を結んでいる東海大学と連携して調査や試験研究を行うことで、新しい漁業等の発掘と人材育成を行っている	
取組により期待する効果	・地元水産業に根付いた水産教育（水産業のPR） ・担い手育成 ・チャレンジ旺盛な水産振興による活性化 ・水産振興の核となる人材の育成	
(2) 取組内容・実施体制（Do）		
取組内容、方法、手順、実施体制	・寿都小学校各学年、総合的な学習　ふうタイム １学年：磯場学習　２学年：ホタテ ３学年：寿カキ　４学年：ウニ ５学年：サケ人工授精体験学習　６学年：サケ稚魚飼育・放流 ・地元水産物を使った給食の提供（小学校、中学校、高等学校） ・東海大学との連携による地域水産業振興 寿都漁港アサリ養殖試験、ナマコ種苗生産、イワガキ種苗生産、コタマガイ資源調査、寿都湾海洋環境調査	
(3) 効果項目に対する評価（Check）		
効果目標の達成度評価	・単年での評価は難しいが、継続実施することで効果が出ると期待している ・今年度は、地元高校と東海大学との協定を締結したが、臨海実習は実施できなかった	
反省点	・各種授業等の講師が高齢化等により人材不足となっている	
(4) 取組の改善措置（Action）		
取組内容の改善点	・取り組みの趣旨に対する理解を深めるとともに若手講師の発掘及び育成を図っていく	
取組の実施に必要なもの	・教育理事者、担当教員、現地担当者、漁協、役場が一丸となり取り組む	

関連資料

【取組の様子】